

平成29年度 地域福祉フォーラム

東京力 × 無限大

東京において町会・自治会等をベースにした住民による福祉活動や、空き家を活用した居場所づくり活動など、各地域の特性やニーズに応じた多様な小地域福祉活動が展開されています。こうした活動は孤立死、虐待、生活困窮など、家族や地域の絆が薄れる中で発生する様々な福祉課題の予防や解決につながっており、ますますの展開が期待されています。

このフォーラムでは多様で多彩な人材や社会資源が集まる大都市東京ならではの可能性や課題に目を向け、「なぜ今、地域住民の力が求められているのか」を参加者全員で改めて考え、理解する機会とします。そして今後も、都内で無理なくゆるやかに、そして着実に小地域福祉活動が継続し、発展していくことを目指します。

みなさまのご参加を、実行委員一同、心よりお待ちしております。

日時：2018年3月4日(日) 午後1時～5時

会場(受付)：飯田橋レインボービル7階 大会議室

※分科会は上記の他、家の光会館にて行います。

参加対象：地域福祉に関心のある方

(地域福祉に関わる仕事、活動に関わっている方、学生、一般市民等どなたでも参加できます)

参加費：500円(当日受付でお支払いください) 定員：200人

基調講演

午後1時～2時15分(開場：午後0時30分)



テーマ：私たちが描く未来^{ゆめ}

～住民・ボランティア・学校・施設等の実践を通して～

講師：市川一宏さん(ルーテル学院大学大学院 研究科長・学事顧問・教授)

プロフィール

専門は社会福祉制度政策・地域福祉・高齢者福祉。現在、東京都共助社会検討委員会 座長等を務めながら全国各地の実践から、様々な「地域の福祉力」を学び、各地域に合った地域福祉実践を研究テーマとする。全国・都道府県・市区町村の行政、社協、民間団体における計画の策定、実施、評価および調査研究、人材養成・研修等に多数関わる。

近年、地域の福祉力を高め、孤立を防ぎ、「おめでとう」で始まり、「ありがとう」で終わる一人ひとりの人生が守られる、希望あるまちづくり、共生型社会づくりに挑戦している。

ソーシャルワーク教育学校連盟相談役、東京都社会福祉協議会総合企画委員会委員長・理事、東京都高齢者保健福祉計画策定委員会委員長、三鷹ネットワーク大学副理事長、東京神学大学評議員 など

分科会

午後2時30分～5時 ※詳細は裏面をご参照ください

分科会	タイトル	会場	定員
①	「新たな仲間、お迎えマニュアル」～新たな仲間がほしい人のために!～	家の光会館	40人
②	多世代交流～子どもたちを地域で育てていくために～	レインボービル	60人
③	地域の“わ”～バウムクーヘンの日に聞く“わ”の話～	レインボービル	60人
④	子ども食堂の可能性～探してみよう、子どもの居場所から生まれる地域の力～	レインボービル	40人

●主催● 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 平成29年度地域福祉フォーラム実行委員会
東京都内社会福祉協議会職員連絡会

●問合せ● 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 地域福祉部 地域福祉担当
〒162-8953 新宿区神楽河岸1-1 (TEL) 03-3268-7186 (FAX) 03-3268-7222
(E-mail) chiiki_07@tcsw.tvac.or.jp

～この事業は、東京都共同募金会による配分金により開催します～

「新たな仲間、お迎えマニュアル」～新たな仲間がほしい人のために！～

分科会
①

「新たに活動に参加してくれる人をどう集めたらいいかわからない」「男性にも活動に参加してほしい…」と悩む地域活動団体は多くありますよね。「活動に参加したい!」という人が見つかったとき、団体に必要な準備・心構えてどんなことなのでしょう?この分科会では、主に定年前後の男性を団体に迎えるにあたってのポイントなど、「新たな仲間を迎える団体のためのマニュアル」となるものを皆さんと一緒に考えます。「これだ!」とヒントになるものを見つけましょう!

講師/今井迪代 氏 (NPO法人 コミュニティービジネスサポートセンター)

多世代交流 ～子どもたちを地域で育てていくために～

分科会
②

都市部では核家族化が進み、一人暮らし高齢者が増え続ける中、子どもたちは“若い”を学ぶ機会を奪われ、お年寄りも培ってきた“知恵”を次世代に伝えることが難しくなっています。「子どもたちを地域で育てていくために、どうしたらいろいろな世代を結び付けられるのか」「その際にはどのような配慮が必要なのか」「実際にどういう効果が期待できるのか」など、一緒に探っていきませんか?目から鱗もあるのでは!

講師/市川一宏 氏 (ルーテル学院大学大学院 研究科長・学事顧問・教授)

地域の“わ”～バウムクーヘンの日に聞く“わ”の話～

分科会
③

見守り活動において「つながり」は大切な要素です。それは“人”と“人”はもちろん、“住民と施設”など様々なつながりがあり、そのきっかけは地域に沢山あります。この分科会では『サロン』や『コミュニティカフェ』に焦点をあてて見守り活動の“今”と“これから”を考えます。「よく解らない…」と思った方も大丈夫!!この日は「幸せを重ねる」などを連想させる縁起の良い製菓「バウムクーヘンの日」。この分科会を通して、多くの方が“わ”になることで幸せに暮らせる地域づくりについて一緒に考えましょう!

講師/倉持香苗 氏 (日本社会事業大学 講師)

子ども食堂の可能性 ～探してみよう、子どもの居場所から生まれる地域の力～

分科会
④

「子ども食堂をはじめてみたいけれど、子どもの居場所、食事の支援をすればいいのかな?」「子ども食堂をやっているけれど、この後どうなるのかな?」近年子ども食堂が続々と立ち上がるにつれて、このように感じている方も増えているのではないのでしょうか。この分科会では、みんなが抱えているそれぞれの悩みを報告者とも共有しつつ、子ども食堂の次の可能性について話し合います。地域の子どもの思いを共通に、子どもへの食支援の活動から次の新たな活動や、「ゆるく繋がる」「たまに広がる」地域のつながりについてみんなで考えていきましょう。

講師/長谷川俊雄 氏 (白梅学園大学 教授)

※各分科会とも、地域活動の実践者にご登壇いただく予定です。

参加申込

●2月23日(金)締切

以下により、FAX 03-3268-7222 または メール chiiki_07@tcsw.tvac.or.jp 宛にお申込み下さい。分科会が第1希望にならない場合は2月27日(火)までに、ご記入いただいた連絡先へご連絡いたします。連絡がない場合は当日、直接会場にお越し下さい。

ふりがな 個人名	分科会番号		所属または普段の活動 (例) 社協職員、民生委員、ボランティア活動者	
	第1希望	第2希望		
連絡担当者 氏名		連絡先	TEL E-mail	FAX
手話・要約筆記が必要な方は○をつけてください		手話・要約筆記(名前:)		

会場アクセス

○飯田橋レインボービル・家の光会館

(新宿区市谷船河原町11)

JR「飯田橋」駅西口改札または地下鉄B3出口から徒歩6分

※地下鉄は有楽町線・南北線・東西線・大江戸線利用

